

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 724 号
2021 年 10 月 1 日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

アルミニウム LME 相場 13年ぶりの高値

アルミニウムの国際指標となるロンドン金属取引所 (LME) のアルミ地金相場は、日本時間 9 月 13 日に 13 年ぶりに一時、3000 ドルの高値をつけました。

市場では、相場の押し上げ材料となってきたアルミ供給懸念が続いています。

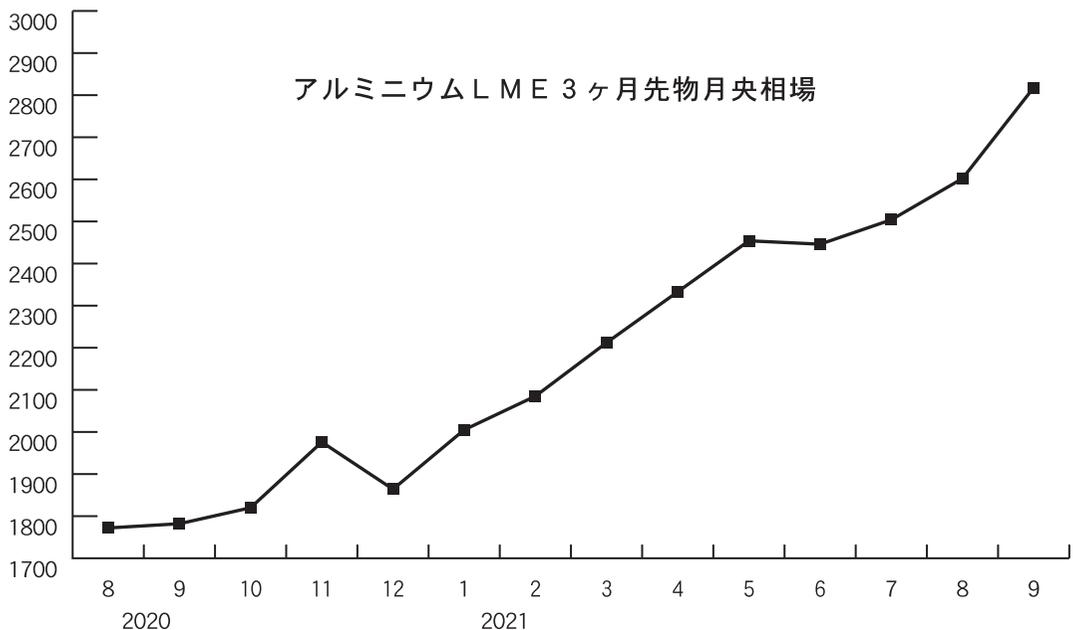
中国では、夏場以降、エネルギー消費の削減目標の達成率が低い南部の雲南省などで、電力を大量に使うアルミ精錬所への電力供給が制限され、生産に支障が

生じています。

また、アルミ原料ボーキサイトの主要産地のギニアで 9 月 5 日に軍部でクーデターが起きたことで供給不安が高まりました。

目先は、高値警戒感から売りが入り安いですが、中国では LNG や石炭の燃料価格が高騰しており、電力価格の値上がりに伴う生産コストの上昇が相場を下支えする可能性があります。

(ドル)



休業のご案内

カーメーカーの世界的減産を受け、10月も生産調整を行います。尚、出荷業務は通常通りに行います。

2021年生産 上半期

アルミ鋳物・ダイカスト 3年ぶりに前年比増

経済産業省がこのほど発表した今年上半期（1～6月）の生産動態統計による生産量は下記の通りでした。

- ・アルミニウム鋳物 192,904トン
- ・アルミニウム・ダイカスト 469,641トン

アルミ鋳物、ダイカストともに上半期として3年ぶりに前年実績を上回りました。

ただ、新型コロナ発生前の19年同期の実績には及ばず、鋳物は19年同期比12%減で2年連続して大台の20万トンを割り、ダイカストも8%減で2年連続して大台の50万トンを割り込みました。全体に半導体不足による自動車分野の減産が響きました。

アルミニウム鋳物

主力の自動車が前年同月比25%増の17万8767ト

ン、輸送その他は42%増の5017トンでしたが、19年対比では自動車が13%下回り、本格的な景気回復には至りませんでした。一般機械は好調で18%増の3789トン、その他は8%増の5331トンでともに19年の水準を上回りました。

アルミニウム・ダイカスト

主力の自動車は28%増の41万5597トンでしたが、19年対比では9%下回りました。二輪は大きく伸びて46%増の1万1957トンでコロナ前の水準を3%上回りました。

一般機械は23%増の1万5731トン、電気機械は32%増の8853トン、その他は37%増の1万7504トンで、ともにコロナ前の水準を上回りました。

6月生産

アルミ鋳物 ダイカスト 前年比 倍増

経済産業省発表の6月単月の生産動態統計によるとアルミ鋳物の生産量は前年同月の倍の3万4543トン、アルミダイカストもほぼ倍の8万3774トンで、ともに4ヶ月連続して前年同月の実績を上回りました。昨年は新型コロナの影響が色濃くなり生産が低水準だった為に当月は大きく伸びました。

アルミ鋳物は自動車が前年同月の倍の32,000トンで4ヶ月連続のプラス。一般機械は30%増の685トン、その他は14%増の939トンで5ヶ月連続して前年実績を上回りました。

アルミダイカストは、自動車が91%増の74,193トンで4ヶ月連続のプラス。二輪は2.5倍の2,083トンで5ヶ月連続のプラス。一般機械は50%増の2,790トン、電機機械は76%増の1,579トンで、それぞれ8ヶ月、5ヶ月連続のプラスでした。その他は倍の3,129トンで8ヶ月連続して増えました。

6月アルミ鋳物・ダイカスト生産

(単位トン・前年比%)

①アルミ鋳物	34,543	(199)
②一般機械	685	(130)
③輸送機械	32,919	(205)
④その他	939	(114)
⑤アルミ・ダイカスト	83,774	(189)
⑥一般機械	2,790	(150)
⑦電気機械	1,579	(175)
⑧自動車	74,193	(191)
⑨二輪車	2,083	(250)
⑩その他	3,129	(207)

アルミ合金輸入量 増加 中国はマイナス

財務省発表の貿易統計によると、7月の中国からのアルミ合金輸入量は前年同月比12.4%減の5,513トンで2ヶ月ぶりに前年実績を下回りました。

現地の原料需給のタイト化や合金価格の上昇が続き対日供給量が減り、輸入量は一昨年までの水準の3万トンの6分の1に減りました。

マレーシアは4.2倍の1,924トンで6ヶ月連続のプラス。インドネシアは8倍の982トンで9ヶ月連続のプラス。台湾は2.4倍の2,552トンで5ヶ月連続して増えるなど、ASEANからの輸入が拡大しました。

欧州・東欧は、スペインが11倍の2,458トンで2ヶ月連続のプラスでコロナ発生前の19年同期の水準を越えました。イタリアは昨年夏の実績が無く、当月は2,096トンで5ヶ月ぶりに増えました。

ロシアは2.2倍の22,879トンで6ヶ月連続のプラス、ウクライナは3.6倍の366トン9ヶ月連続の増えました。

7月 アルミ合金 輸入量

国名	重量(トン)	前年同月比
中国	5,513	(- 12%)
マレーシア	1,924	(+ 320%)
インドネシア	982	(+ 700%)
スペイン	2,458	(+ 997%)
イタリア	2,096	(—)
ナイジェリア	2,191	(+ 136%)
ロシア	22,879	(+ 125%)
ウクライナ	366	(+ 266%)
U A E	17,585	(+ 68%)
その他	20,715	
合計	76,709 ^{トン}	(+ 89%)

金属シリコン価格 大暴騰

アルミニウム二次合金地金の主要添加剤である金属シリコンの価格が大暴騰しています。

主要生産国である中国で在庫が品薄となり、対日オフナー数量が激減していることが要因で、8月より大幅に値を上げています。

アルミ二次合金の多くには、铸造性をよくする為などで金属シリコンを5～10%添加します。ダイカストで広く一般的に使用されているADC12規格には一割程度のシリコンが含まれます。添加用の金属シリコンは現在その多くが中国で生産されており、日本企業も多くを中国から輸入しています。

中国は天候不順に伴う渇水や、オーストラリアとの貿易摩擦に伴う石炭不足などで電力不足となり、生産に多量の電力を必要とする金属シリコンの生産が大幅に減少しています。

また、クリーンエネルギーの普及により、太陽光発電向けにシリコンの需要が高まり「低品位の金属シリコンの生産が押さえられていることも影響している」との声も聞かれます。

金属シリコンは中国が世界供給の7割近くを占める中で「電力制限命令を受けた主産地の雲南省では9割近くが操業停止しているのでは」との情報も入ってきて、価格上昇に拍車がかかりました。

深刻な現物不足で需要家サイドは中国以外の国からの手当てを勧める動きも出てきました。ただ、アジア諸国からはコロナ感染拡大の影響で供給数量は限られ、ブラジルからは輸送日数と価格の面で抵抗があります。

相場上昇は長期化の様相を見せていますが、世の中パニックに陥らないように切に望む次第です。

10月1日～7日

全国労働衛生週間

今年のスローガンは

「向き合おう！ 心とからだの健康管理」

副スローガンは

「うつらぬうつさぬルールとともに みんなで守る健康職場」

社内情報

- ◎部屋の換気をしっかりするなど新型コロナウイルス感染予防の様々な対策をとってきましたが、当社も9月は陽性者が出ました。
- ◎保健所の指導の下、関係者のPCR検査や入念なアルコール消毒で対応をしっかりと致しました。
- ◎一か月遅れの「ワクチン職域接種」一回目を無事に終了しました。二回目は10月16日の予定です。
- ◎1頁でご案内しましたが、10月も9月に引き続き生産調整日を設けます。その都度ご通知しますので皆様、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

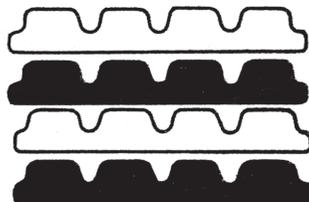
編集後記

- 半導体不足から始まり、ハーネスなど様々な部品不足が明らかになり、自動車業界への影響も日増しに大きくなってきました。
- 東南アジア諸国のコロナ感染拡大に対するロックダウンの影響は、様々な方面に現れてきました。
- 中国からの金属シリコンの入荷が滞ると二次合金生産に支障が生じます。
- 中国の脱炭素政策による、石炭火力の稼働低迷、電力供給制限は、はたして冬季オリンピックまで続くのか、その後も続くのか、大変懸念されます。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)

アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>